

空き店舗を活用してみませんか？

町では、空き店舗の利用促進とま
ちのぎわいづくりのため、平泉町
空き店舗対策事業補助金を交付して
います。

■補助額：空き店舗へ出店される人
に、1店舗につき賃借料の月額
2分の1(月額3万円を上限)に相
当する額

伐採には届け出が必要

森林は所有している皆さんの資産
であるばかりでなく、水源の養成や
地球温暖化防止などの役割を果たし
ている公共財でもあり、地域社会に
とって重要な資源です。

森林を適切に維持管理するため
に、伐採届出の提出が法律で定めら
れています。

森林を伐採する場合は市町村長へ
届け出しなければなりません。

■森林を自分で伐採するときは(木

農地中間管理事業による農地の貸し付け希望を受け付けます

農地中間管理事業とは、農地の貸
し借りを進め、規模拡大と農地の集
約化(連担化)を図って生産性を高め
ることを目的とした事業です。

県農業公社(農地中間管理機構)が
貸したい人から農地を借り、公募に
より登録された担い手に農地を貸し

■補助要件

▽出店する業種が小売業、飲食業、
サービス業(チェーン店以外)であ
ること

▽平泉商工会に入会すること

■問い合わせ先

観光商工課 ☎46-5572

―など

を切るときは)：森林所有者が必
ず伐採届出書を提出しましょう。

■業者に伐採を依頼(販売)すると
きは：森林所有者と業者と連名で
伐採届出書を提出しましょう。

■届け出時期：実際に伐採を始める
90日から30日前まで

■届け出先：伐採する森林の所在市
町村長

■問い合わせ先

農林振興課 ☎46-5564

出します。同公社では農地の貸し付
け希望を随時受け付けています。

詳しい内容については、役場農林
振興課までお問い合わせください。

■問い合わせ先

農林振興課 ☎46-5564

平成26年度ジュニア平泉文化歴訪団①
福島県国見町児童との交流

昨年度から始まったジュニア
平泉文化歴訪団(町教委主催の
国見町児童との交流が、8月4
日に町内で開催されました。

国見町は、奥州藤原氏や源義
経と関わりの深いまちで、平泉
とは中尊寺ハスの株分けをきつ
かけに交流が始まりました。今
年は町内5、6年生の児童26人
と国見町児童20人が交流しまし
た。

最初に町役場で国見町児童を
出迎え、交流会がスタート。手づ
くりした名刺を交換し、紹介パ
ネルでお互いのまちをPRしま
した。



- 1. 手づくりの紹介パネルで
お互いのまちを紹介
- 2. はっ斗作りに挑戦
- 3. クイズウォークラリーで
平泉を学習
- 4. ハイタッチで再会を約束

その後、町公民館に移動して
両町児童が同じ班となり、平泉
町の郷土料理である「はっ斗」
「餅」作りを体験。昼食としてお
いしくいただきました。

昼食後は、「平泉と国見のつな
がり」について学習。その後クイ
ズを解きながら歩いて回る「平
泉クイズウォークラリー」で町
内の史跡を巡り交流を深めまし
た。

町文化遺産センターで行われ
たお別れ式では、両町の末永い
交流を約束して1日の交流を終
えました。



農地パトロールを実施します

農業委員会では、農地の適正管理
を確認するため、毎年1回農地の利
用状況調査を行っています。

調査は、農業委員が巡回して確認
するため、場合によっては私有地に
立ち入ることもあります。

日本赤十字社救済金の募集

日本赤十字社では、次の救済金を受
け付けています。救済金は直接郵便局
から送金ください。

なお受付期間中、ゆうちょ銀行と郵
便局窓口では送金手数料が無料とな
ります。また、この救済金は、所得税法
および法人税法に基づく寄附金に該
当します。(個人住民税の寄付金控除
の対象にはなりません)

■ガザ人道危機救済金

調査員は農業委員会の腕章と身分
証明書を携行していますので確認す
ることが出来ます

■期間：9月1日(月)～11日(木)

■問い合わせ先
農業委員会 ☎46-5567

▽受付期限：10月31日(金)まで

▽口座加入者名：日本赤十字社

00110-2-5606

▽その他：通信欄に「ガザ人道危機
救済金」と明記し、受領証希望の場
合は「受領証希望」と追記してくだ
さい。

■問い合わせ先

町民福祉課 ☎46-5562

9月14日敬老会を開催します

町では、多年にわたって社会に貢献
してきた方々に感謝し、その長寿を祝
い、敬老の意を表することを目的に敬
老会を開催します。

今年の招待者は、昭和10年4月1日
以前生まれの方1,038人(男性334人、女
性704人、8月26日現在)です。

会場にはテーブル、いすを設置して
います。皆様のご来場をお待ちして
います。

- 日時…9月14日(日) 11:00～
- 場所…平泉中学校体育館
- 主催…平泉町
- 協賛…町社会福祉協議会
町民生児童委員協議会
町地域婦人団体協議会
町区長会
- 協力…平泉・長島両地区婦人会
- 問い合わせ先…保健センター
☎46-5571

ジュニア平泉文化歴訪団活動②
山形県酒田市などを訪問

団員26人は、国見町児童と
の交流に引き続き、8月6日
から8日までの2泊3日の日
程で県外学習を行いました。

今回訪れたのは、「酒田三十
六人衆」でつながりのある酒
田市と、「源義経」や「松尾芭
蕉」と関連のある鶴岡市・最上
町・戸沢村で、平泉文化にゆか
りのあるまちを訪問しまし
た。

酒田市では、酒田三十六人
衆の子孫の方々から平泉と酒
田のつながりについて説明を
受け、その後、当時酒田が港町
として栄えたことを示す「本
間家旧邸宅」や「旧鍛屋」、「山



酒田三十六人衆の上林代表から
話を聞く団員

酒田三十六人衆とは…

藤原秀衡の妹とも後室とも
呼ばれた徳尼公(とくにこう)
は、源頼朝に追われた際、36人
の家来を従え酒田に移り住み
ました。その家来たちが酒田
三十六人衆として「西の堺、東
の酒田」と称されるほどにぎ
わった港町酒田のまちの礎を
築きました。



松尾芭蕉が訪れた「封人の家」